



おとなも子どもも「color〈個性〉」を大切に過ごせる日常を。
株式会社みんなのみらい計画 太田 歩実さん



どんな仕事をしていますか？

わたしたちは、「子育てを楽しめる世界」を目指し、地域や企業様のニーズを踏まえ、行政認可保育園、企業主導型保育園、学童保育クラブを展開しています。そのなかで私は、「モリオカえほんの森保育園」の園長として、働く家庭のお子さんを預かり保育を担当しています。保育園という地域との結びつきができる拠点を活かし、地域向けのイベントや子ども食堂の開催にもかかわっています。

入社のきっかけは？

新しい保育園ができることを広告で知り、そこにはわくわくするような保育園のイメージ図。興味を持ち、自分も携わりたいと思いました。保育園の園児募集の見学会があり、自分の子どもの保育園探しもあり実際見学して、入社を決めました。

仕事のやりがいを教えて！

「子ども達のその瞬間にしか見ることができない一瞬を見ることができること」そして「かけがえのない大事な時期を保護者の方と一緒に感じることができること」がこの仕事のやりがいです。

印象に残っている仕事のエピソード

初年度担任したお子さんが今高校生になっています。卒園して大きくなってからも、この仕事を続けているとめぐり逢いで子ども達の成長を感じられる瞬間が出てきます。保育園在籍期間中だけの関係で切れるのではなく、ずっと関係が続いていると感じます。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」

やっておいてよかったことは、ボランティアをはじめ、「視野を広げる」こと。やっておけばよかったことは、「遊ぶこと」ですね。時間をもっと大切にすればよかった。時間があるようで短いので、何でもやってみるべきです！

株式会社みんなのみらい計画
<https://www.miraikeikaku.jp/>



現場の保育士さんがいきいきできる職場づくりをサポート
株式会社みんなの未来計画 後藤 千尋さん



どんな仕事をしていますか？

わたしたちは、「子育てを楽しめる世界」を目指し、地域や企業様のニーズを踏まえ、行政認可保育園、企業主導型保育園、学童保育クラブを展開しています。そのなかで私は、保育園運営企業のバックオフィス。求人・採用事務や入退職の労務事務、給与や賞与に関わることなどを担当しています。

入社のきっかけは？

新卒から10年、医療機関や福祉施設で働きましたが、出産後仕事と子育ての両立のハードさに打ちのめされていました。自分自身が子育てと両立できて、かつ小さい子どもを抱える家庭の役に立てる場所は無いかな。と模索しているときに、出会いました。

仕事のやりがいを教えて！

現場の保育士さん達が結婚したり子どもを産んだり。病気や怪我をしったり色々なことで悩まれることがあるのですが、そういうときこの職場で働き続けられるか？どんな支援が受けられるか？相談を受けて、制度につなげることができたときにやりがいを感じます。

印象に残っている仕事のエピソード

ある社員の退職の際に「いつもどんなことも対応が早くて助かりました」と感謝の気持ちを手紙でいただいたことがあり、嬉しい思い出です。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」

時間があってもお金が無い状況。限られた資金の中ですが、もっと行ってみたい場所に行き色々な価値観に触れられたらよかったです。映画をたくさん観て過ごせたこと、友達と昼夜を問わず色々なことを語り合えたことはよかったです。

株式会社みんなの未来計画
<https://www.miraikeikaku.jp/>

地域住民の健康をまるっと支える

盛岡医療生活協同組合 川久保病院 成ヶ澤 学さん



どんな仕事をしていますか？

当院は入院120床の中小規模の病院です。急性期を脱した患者さんの治療を継続しつつ、自宅に帰るためのリハビリや各種のサービス調整を行っています。また、自宅に戻ってからの通院医療や在宅医療を担っています。そのなかで私は、医療活動の運営に関わる課題抽出と対応、その調整をしています。また、医療を取り巻く社会保障をより良くするための運動も担当しています。

入社のきっかけは？

リハビリの専門職として、病気や怪我をした後に自宅に戻るために症状の緩和、機能改善訓練、動作指導、家族の指導や家屋の調整などに携わりたいと考えて入社しました。

仕事のやりがいを教えて！

医療はいろんな専門職がお互いに信頼し、良さを引き出し合うチームプレーが重要です。前はプレイヤーとして患者さんの健康に関わっていましたが、今は患者さんのより良い生活を支えるために各部署やシステム等の調整に携わっていて、うまく回っているときにやりがいを感じます。

印象に残っている仕事のエピソード

新型コロナウイルス感染症が大流行していた時期にいつもの倍以上の外来患者さんを受ける日々が続いて、職員が疲弊していました。待ち時間も長くなり、クレームもありましたが、中には「断られてどこでも診てもらえなかったから良かった」と言ってくれる患者さんもいて、「地域を守る医療機関」としての役割を再確認できる機会がありました。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」

学生の時はアルバイトもしながら、仲間とバカなことをいっぱいして、良い意味で価値観が広がり、人間が一回り大きくなったと思います。

大学を卒業してそのまま専門学校に入りましたが、一度就職をしてから専門学校に入っていたら、課題がもう少し明確になって、もっと目標を具体的にできたかなと思うところがありました。

盛岡医療生活協同組合 川久保病院

<https://www.kawakubo-hos.jp/>

地域のみなさんの健康を支える

盛岡医療生活協同組合 川久保病院 坂井 美玖さん



どんな仕事をしていますか？

当院は入院120床の中小規模の病院です。急性期を脱した患者さんの治療を継続しつつ、自宅に帰るためのリハビリや各種のサービス調整を行っています。また、自宅に戻ってからの通院医療や在宅医療を担っています。そのなかで私は、病院での受付業務、会計業務、電話対応、保険情報登録など、来院される方の対応をしています。

入社のきっかけは？

「地域医療に携わりたい」という思いが強く、入社をしたいと希望しました。

仕事のやりがいを教えて！

わたしはいろいろな人と関わるのが好きなので、患者さん・職員問わず、多くの方々とコミュニケーションをはかりながら業務に携われることにやりがいを感じています。そして、入職のきっかけにもなった地域のみなさんの健康を守る取り組みに関われることに喜びを感じています。

印象に残っている仕事のエピソード

入職したての頃は、実際に病院で働いてみなければわからない医療現場の様子を知ることができ、個人的には非常に興味深く、毎日新鮮な気持ちで仕事していました。いまその気持ちは変わらず、日々色々な患者さんと接する中で様々な学びを得ながら業務に取り組んでいます。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」

経験しておいてよかったのはサークル活動です。ただ、もっと充実した活動ができていたらなおよかったと思います。また、学生時代にしかできないようなことをたくさん経験して、自分の価値観を広げてみることをしてもよかったのかなと思います。

盛岡医療生活協同組合 川久保病院

<https://www.kawakubo-hos.jp/>

28歳の時、介護施設の経営者に。
有限会社まごのて 久保 忍さん



どんな仕事をしていますか？

福祉事業の経営をしながら、人材育成・地域活動に参加しています。高齢化が進む岩手県の課題に対し盛岡地区におけるICTを活用した地域の 高齢者見守りサービス「おうちでまごのて」と 様々な生活支援サービスを実施しています。

入社のきっかけは？

祖父の介護がきっかけで介護福祉士資格し介護の道を歩き始めました。介護施設で働くが施設の業務は流れ作業…大好きな高齢者とのコミュニケーションがゆっくり取れないことが嫌で、思い描く介護がしたいと独立。28歳の時、介護施設の経営者になりました。

仕事のやりがいを教えて！

利用者さんや職員が笑顔でいてくれることです。地域の課題は解決に時間がかかりますが、大好きな岩手、地域が良くなることを願い活動することがやりがいです。

印象に残っている仕事のエピソード

経営者になる前のエピソードですが、当時の私は入りたくて入った職場でした。国家資格もあるけれど「産休の代替要員・期限付きの臨時採用で採用されました」採用されそれはうれしくて一生懸命仕事に励みました。退職までの期限も迫るそんな時「ちょっと来て！」と怖い声で言われ連れていかれた先に職場の人たちがたくさん輪になりいた。「怒られる！！何かしたっけ？」そんな空気。「真ん中に！」といわれ益々緊張。すると一人の職員が「仕事頑張ってるよね。あなたは臨時採用でボーナスがないから。みんなで出し合ってあなたへのプレゼントを用意したよ」とカバンをボーナス代わりにくれました。「一瞬どうなるのか？」と思いましたが、本当にこの職場に入れてよかったと心から思いました。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」

学生時代はアルバイトや友達と遊ぶことに力を注いでいました。「学生時代にしかできないこと」を思いっきりやれたと思っています。

有限会社まごのて
<https://www.magonote.cc/>

地元で多くのお客様に貢献
リコージャパン株式会社 熊本 知文さん



ずっと盛岡で育ってきた熊本さん。大学卒業後も、地元企業へ就職活動を行いました。縁あって現在のリコージャパンへ入社。奥州で4年間勤務したのち、盛岡へ異動し2年目。日々楽しく働いています。

Q. どのような仕事をしていますか？

お客様との会話を大切に、営業活動を行っています。お客様自身が気付かないような課題を発掘していくことで、最終的には些細なことでもご相談いただける関係性を築けるよう心がけています。そのためには、お客様だけでなく、社内のスタッフと関係を築き連携をすることで、スピード感をもって対応できるようにしています。また、若手社員にも目を配り、日々アドバイスできるようにしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

大学在学中から接客に興味がありました。それを踏まえて就職活動を行い、計2社の内定をいただきました。会社説明会に行った際、働いている人たちの雰囲気が高く、自分でも働きやすそうだと思い、現在の会社に入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

会社説明会で思ったことと同じように雰囲気が良く、特に上下関係や年齢差に関係なく素直に話せるところや、仕事の話はもちろん日常的な会話も分け隔てなく楽しめるところが良いと思っています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社1年目の複合機の初受注が一番の思い出です。アドバイザーから提案資料の作成、商談、契約までの流れを指導していただき、提案から契約までを自分一人で行ったことは今でも忘れられません。拙い商談も優しく受け入れていただいた先方の社長様には感謝してもしきれません。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

まずは、いろんな会社に触れてみた方がいいと思います。会社によってやり方、仕事内容は全然違います。自己分析で悩んだりするよりも企業に触れ、実際にみてみた方が自分の働いている姿や気づきがあるかもしれません。

インタビュー：リコージャパン株式会社 川口 慶太郎

リコージャパン株式会社
〒020-0866 盛岡市本宮3-36-45
URL <https://www.ricoh.co.jp/>

SEとしての技術とCEの経験からワンストップで対応できる社員を目指す！

株式会社木津屋本店 若槻 壮志さん



地元の工業高校卒業後、北上の専門学校に進学した若槻さん。2年間SE(システムエンジニア)の勉強をするも、機械関係の分野に興味を持ちCE(カスタマーエンジニア)を目指します。東京に本社があるシステム保守会社に就職し、研修期間を経て埼玉の支店に配属になりましたが、その後リターン希望のため転職。木津屋本店に就職しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

お客様先でPCあるいはネットワークなどの問題が発生した場合のサポート対応、および事務用機器の入れ替え促進とそれにともなうSE業務全般を行っています。また営業への販売支援としてパソコンやセキュリティ商材のチラシ作成、営業と同行して事務機器などのデモ活動などを行っています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

自分自身、お客様を直接持っているわけではありませんが、営業のサポートでPC関係の業務を引き受けることが多々あります。そういった仕事を行っていくうちにいつの間にかお客様に社名ではなく名前で呼んでいただけるようになったことが印象に残っています。また弊社の展示会に参加されたお客様が私のことを覚えていて下さって声をかけて頂きました。仕事を通して人と関わる喜びを感じています。

Q. これからの目標を教えてください。

SEとしての技術を持ったままCEになり、ソフトとハード両方に強い技術者になることが目標です。今の会社でSE分野の経験を積んでいて、そこに前職のCE経験があれば現場でワンストップのシステム対応ができると思っています。また若手が少ない職場なので、後輩や新人が仕事で悩みを抱え込まないように「相談しやすい先輩」として頼られる人間でありたいと思っています。経験上、話しかけやすい先輩がいるといかないとでは、若手の会社での過ごしやすさが断然違うと考えているからです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動は今後の自分の人生を大きく左右する重要なイベントです。親や先生、周りから色々と言われることもあると思いますが、自分でしっかりと納得できる進路にすすんでほしいと思います。自分の考えを発信できずにいると、周囲の人が勝手に決めてしまうことがあります。自分の納得のいく結果にするためにも、自分の意見は隠さず、積極的に自分の気持ちを発信してほしいです。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

すぐ近くには山があり川が流れ、とても自然豊かな地域です。休日には温泉に行くなど自然に触れることでリフレッシュが出来るのはいいなと思います。また盛岡の中心部では建物も明治、昭和時代の建物が立ち並ぶレトロな街並みに歴史を感じることができます。弊社の総務部のある社屋も180年程前の蔵造りの建物で少し盛岡の街を歩けば、色んな時代に遡ることができる素敵な街です。

インタビューー：第二営業部 MC特販課 齋藤 成美

株式会社木津屋本店
〒020-8561 盛岡市南大通2-3-20
URL <http://www.kizya.co.jp/>

在宅訪問で服薬支援。患者様から信頼されるやりがい。
有限会社スタイル薬局 横澤 由紀さん



盛岡の高校を卒業後、北海道にある大学の薬学部へ進学した横澤さん。大学卒業後は地元岩手の病院へ就職し、2年半程勤務。その後、知り合いを介して現在勤めるスタイル薬局への誘いを受け、一度は断ったものの縁あって入社することとなりました。

Q. どのような仕事をしていますか？

薬剤師として処方せんに基づく調剤や、患者さんへの服薬指導、患者さんの自宅を訪問して薬の管理や服薬の支援などを行なっています。また、管理薬剤師という役職も担っており、薬局にある医薬品の在庫管理や品質管理、薬剤師や他の従業員の管理・指導なども行なっています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社当初は薬剤師の人数が3人と少なく、帰る時間も遅くなることが多く慣れるまで苦労しました。現在は業務も多様化し、業務の量も多くはなっていますが、人員の充実、組織力の向上によって以前より個々の負担は軽減されています。職場内の人間関係も良好でとても働きやすい環境です。また、自分が興味を持った所などは勉強する機会が与えてもらえ、ステップアップもしやすい環境だと思います。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

在宅訪問の仕事は特に印象に残っているものが多いですが、その中でも元々スタイル薬局を利用されていた患者さんと、歩いて病院や薬局に通うのが難しくなったため在宅訪問をさせて頂くことになった方がいました。何度かその方の訪問を繰り返す中で、「死ぬまでやめないでね」という言葉を頂き、人の役に立っている、誰かに必要とされているという実感が湧き、やりがいを感じました。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

働く上で一番大事なものは人間関係だと思います。そのため就職先を探す際には直接職場へ足を運び人間関係をみるようにすると良いと思います。この人たちとなら仕事を続けたいと思えることが大事です。また、自分にとってステップアップになる場所かどうか大切です。社会人として必要な資質としては、自分からやることを探す姿勢、将来の具体的なビジョンが見えている、周りが見える、レスポンスが良いことなどが必要だと思います。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡の良い所は「丁度いいところ」だと思います。都会過ぎず、田舎過ぎない。そのバランスが丁度よくとても過ごしやすいと思います。そして、何より人が良いです。相手を思いやる気持ちが根付いていると思います。

インタビュー：吉田 皓

有限会社スタイル薬局
〒020-0133 盛岡市青山3-6-2
URL <https://www.e-classa.net/style/>

“新しいことに挑戦する社風”に刺激を受けるやりがいを感じて。
有限会社スタイル薬局 齊藤 美穂さん



盛岡の高校を卒業後、医療事務の専門学校に入学した齊藤さん。専門学校で調剤事務の勉強をし、興味を持ち卒業後、縁あって、2003年に現在の会社に入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

受付や会計事務、請求書等の作成、薬品の在庫管理などの一般業務。加えて、新入社員や実習生の教育の担当や、薬剤師が入社した際に保健所、厚生局に提出する書類の作成、全社員のシフトの管理、新入社員の入社にあたっての事前準備等も行っています。登録販売者の資格も持っているため、一般用医薬品の販売もしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

小学校の頃から「病院の受付になりたい」という夢があり、夢を実現するために医療事務の専門学校に入学。専門学校で調剤事務の勉強をし、興味を持っていたところ、スタイル薬局の求人を見て、「いつも行っていて良くしてもらっているところだ」、「ここで働きたい」と直感的に思い入社試験を受けることを決意しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

新しいことに挑戦している会社で、様々な変化に戸惑い大変だと感じることもあります。ですが、勉強にもなり、刺激にもなるためやりがいがあります。また、薬局内でのイベントや毎年恒例の盛岡・北上川ゴムボート大会などにも、積極的に参加する社員が多く、業務以外でもコミュニケーションがとれているため、それが仕事にもつながっていると感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社したばかりのときは社会人として初めての職場だったため、言われたことをやるだけで精一杯でした。そんなときに、受付業務をしている中で、いつもいらして下さる患者さんに「笑顔がとってもいい」と言ってもらえたのがとても嬉しく、印象に残っています。

Q. これからの目標を教えてください。

皆が働きやすい環境を作りたいです。例えば、新入社員へ積極的に声掛けをし、分からないことや困っていることなどを聞いて、少しでも楽しく働けるように手助けをしていきたいです。それに加え、社員全員がスムーズに動けるようにルール作りや、誰が見ても分かるようなマニュアルを作り、よりよい環境を作っていきたいと考えています。

インタビュー：村上 彩夏

有限会社スタイル薬局
〒020-0133 盛岡市青山3-6-2
URL <https://www.e-classa.net/style/>

地元企業で地域貢献を！

株式会社木津屋本店 中村 風真さん



盛岡の高校でラグビー部に所属していた中村さん。地元の大学に進学後、大好きな岩手で働きたいという想いから地元企業を中心に就職活動を行っていました。縁あって現在の会社に入社し、営業として日々奮闘しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

主に企業や官公庁などオフィスへの営業活動を行っています。特に盛岡市内を中心に営業しており、紙やペンなどの一般事務用品をはじめ、デスク・チェアなどのオフィス家具やコピー機などの事務機器といった様々な商品を取り扱っています。様々な商品の中からお客様に合わせた提案を行っています。また、提案から納品後のアフターフォローまでお客様第一で丁寧に行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

就職活動を行っていく中で最も大切にしていたことは、地元への貢献です。生まれ育った盛岡という街が好きで、将来は地元で働きたいと考えていました。地元企業を中心に就職活動をしていく中で、現在の会社に目が留まりました。創業から約380年という長い歴史と、県の指定有形文化財に認定された社屋を持ち、激動の歴史の中生き抜いてきた会社なのだととても興味を持ちました。会社見学を通じて、社内の温かい雰囲気にもますます惹かれ、入社を決めました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

会社の雰囲気はとても温かいと感じています。営業として日々奮闘していますが、とても幅広い商品群を取り扱っている為、お客様によってはニーズにピッタリと合った商品を選定し提案することは容易ではないです。しかし、職場が温かい雰囲気なので分からないことや困ったことは社内で相談しやすいです。そのため失敗を恐れることなく、自信を持ってお客様へ提案することができるので、とても助かっています。

Q. これからの目標を教えてください。

社内において、若手社員の中でリーダーシップを執り、会社を引っ張っていく存在になりたいと考えています。現在社内ではベテランが多く、若手の社員が少ないです。今後後輩も増えるので、まずは自分自身が営業として一人立ちしていかなければならないと感じています。営業としての知識や経験を積み重ね、今後入社してくる後輩に、先輩として誇れるよう努力していきたいと考えています。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡は、自然や文化あふれる素敵な街だと思います。春は桜、夏は祭り、秋は紅葉、冬は雪景色というように、四季折々の景色をどこよりも楽しめます。また、盛岡はラーメン店が沢山あり、私自身も盛岡のラーメンが好きで休日はよく食べに行きます。さんさ踊りや山車、いしがきミュージックフェスなどイベントが充実していることも盛岡の魅力です。今年も新型コロナウイルスの影響でイベント関係は軒並み中止となっていますが、来年こそは開催し、活気や盛り上がりを見られたらと思っています。

インタビュー：株式会社木津屋本店 岩崎 蒼一郎

薬剤師として患者さんのために
株式会社ライブリー 松本 智典さん



大学卒業後、知り合いからの紹介でライブリーに就職した松本さん。一度退社し、岩手県の病院で4年間働き、病院を退職後に縁あって再びライブリーに入社しました。現在は北上の店舗で薬剤師として日々患者さんのために働いています。

Q. どのような仕事をしていますか？

薬剤師として日々調剤や服薬指導、薬の在庫管理などをしています。さらに薬局では24時間対応しているの、夜間や休日でも患者さんからの電話での問い合わせにお答えしています。その他に、管理職として門前の病院とのコミュニケーションをとり、情報交換などをして円滑に進められるようにしています。また、皆がストレスなく働けるようにコミュニケーションを取りながら環境づくりに努めています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

薬剤師になろうと思ったきっかけは親が薬剤師だったことや、薬の小さな白い粒がなぜ病気に効くのか、どのように作用するのか知りたかったからです。最初に入社したのは知り合いからの紹介がきっかけです。一度は退社し、病院の薬剤師として薬局とは異なる様々な業務も経験しました。転職する際には自分が考えていた条件と合っていたこともあり、縁あってライブリーに入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

ライブリーに入社して自由な会社だと感じました。自由というのは良い面もあれば悪い面もあります。例えば業務について進め方などが細かく決まっているとそれを守りながら働くのは大変ですが、逆に作業に落とし込めて楽な部分もあると思います。自由であるということはその分責任が生じます。しかし、自由であれば環境や人などに合わせて自分でやっていけることが増えると思います。

Q. これからの目標を教えてください。

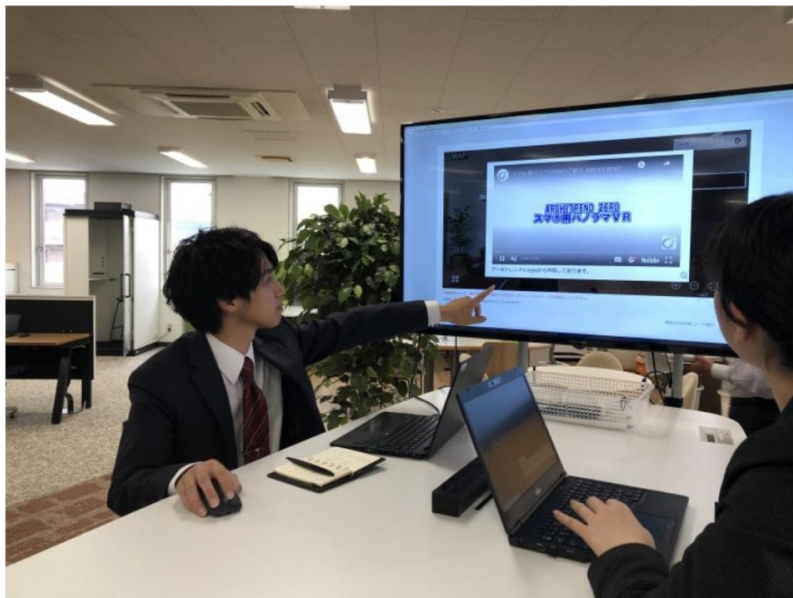
色々な薬剤師を育ててみたいです。それぞれの個性や性格を見て、良い面を引き上げられるように指導していきたいと思っています。また、仕事は社会の中での役割だと感じています。患者さんが薬物治療において、副作用や薬の効果がでないなどの不利益を受けないように服薬指導や薬の管理をしていくことが社会の中での薬剤師の役割であると思っています。たとえば患者さんに感謝されなくてもその役割を全うしていきたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動に限ったことではありませんが、もっと世の中のことを知ることは大事だと思います。例えば薬剤師だからといって、医療関係のことだけを勉強する。医療業界について深く知っていくことも大事ですが、異なる業種の人と話すことや異なる業界について知ることでも大切です。様々なことを経験し、色々な人達と交流し話をしてください。何度失敗してもいい。失敗をした方が強くなれると思います。

インタビュー：株式会社ライブリー 村上 侑希

美容師からOA機器営業マンへ転職！
リコージャパン株式会社 笹森 亮太さん



盛岡の専門学校を卒業後、美容師として3年間勤務した笹森さん。結婚を機にワークライフバランスを両立できる仕事を探し、縁あって現在の会社に入社しました。子どもも生まれ、営業職から専門職に希望して異動し、家庭と仕事の両立をしながら働いています。動画編集や配信が趣味です。

Q. どのような仕事をしていますか？

以前は営業職として働いていましたが、専門的な知識を学びたいと自ら部署の異動を希望しました。現在は、得意なIT知識と営業経験を活かし、お客様の働き方改革のお手伝いや社内外に寄り添った提案活動をしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

初めに就いた仕事は美容師でした。高校生の頃は「このままサラリーマンになるのはつまらない！」と奮起し、なんとなく興味のあった美容学校に入学しました。卒業後は美容師のアシスタントとして、3年間仕事をしながら修業しました。結婚を機に休日や福利厚生について考え、転職活動をしていたときに縁あって現在の会社に入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社して驚いたのは、オフィスが明るい雰囲気なことです。仕事のオフィスといえば、シーンと誰も話さない静かな空気の中、複合機の印刷音やカタカタとタイピングをする音…と思いきや、皆和気あいあいと会話が飛び交っていました。印象は今でも変わっておりません。

Q. これからの目標を教えてください。

働き始めて4年目。ようやく仕事を少しずつ覚えてきたので、まずは一人のビジネスマンとして自立できるようにになりたいです。専門知識も日進月歩なので、何とか食らいついてお客様に最適な提案ができるように勉強していきます。頑張った分の給料で、家族サービスはもちろんコッソリと自分の趣味にも潤いを与えたいです！

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

仕事を通じてさまざまな業種のお客様と関わってきました。どの業種も大変なことやさまざまな悩みがあります。「やりたいこと」「仕事を通じて身につけたいこと」が決まっていれば、入社後に後悔しないのではないかと思います。同じ業種でも働き方は全然違ってきます。目まぐるしい情勢変化の中、これから自分に何があれば生き残れるのか、そのためには自分に何が必要なのか。何でも調べられる今だからこそ、それを最大限に活用していただきたいと思います。

インタビュー：リコージャパン株式会社 近藤 颯

リコージャパン株式会社
〒020-0866 盛岡市本宮3-36-45
URL <https://www.ricoh.co.jp/>



地元のために、利用者のために
社会福祉法人岩手と敬会 長岡 修さん



盛岡で生まれ育ち、北海道の大学に進学した長岡さん。高校時代、人のために働きたいと感じたことをきっかけに、大学からは福祉の道を選びました。そして地元・盛岡に戻り、卒業後から現在まで岩手と敬会に勤め、介護士、相談員等を経験後、現在は事務部長として働いています。25年で様々な部署や職種を経験したことが、自分の財産だと話します。介護経験もあることから、利用者さんとの関わりも大切にしています。

Q. どのような仕事をしていますか？

事務部長として、施設長の補佐をはじめ、組織全体の管理や人事労務・財務、各関係機関との連絡調整等を主な業務としています。最近では、ストレスをかかえる職員から相談を受けることも少なくありません。働く職員が元気に業務をするために、良好な職場環境の保持や人材の育成に努めています。また、利用者さんの送迎や施設の行事にも積極的に参加しています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

きっかけは高校の時でした。ふと人のために働きたいという考えが浮かび、大学では福祉の勉強をしました。他の福祉関係の施設にも見学、実習に行きましたが、岩手と敬会が自分に一番合うと感じ、生まれ育った大好きな地元で働きたいということで、岩手と敬会以外考えることができませんでした。大学新卒からこの仕事に勤めて約25年目、定年まで約10年。地元、地域の福祉のために働いていくことを考えています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社当時、介護士として働いていましたが、学校では学べない実際の現場の大変さを感じました。現場を離れ、事務員として働くようになると、利用者さんと直に関わることが少なくなりましたが、利用者さんに対する思いやり、利用者さんのために、という気持ちや、利用者さんの生活の場で自分が働かせていただいている、という気持ちは入社当時から変わりません。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

利用者さんから思いやりの言葉を頂くことや、利用者さん同士がお互いに思いやりをもっていることに人との関わりを感じ、感動しました。また、岩手と敬会に就職してくる方を嬉しく思い、年を重ねるごとにやりがいや感謝を感じます。更に、今までのいろんな失敗を乗り越えることができたのは、自分にエールを送り続けてくれた先輩たちが支えてくれたからです。

Q. 就活する学生へのアドバイスををお願いします。

岩手と敬会は、法人が設立された時からの歴史があるため、キャリアの長い大ベテランから若者まで幅広く就業しています。介護技術やメンタル面でも先輩から後輩へと受け継いでいます。働きやすく、長く勤めることが出来ます。思いやりややりがいをもって働くことは大事なことです。介護士として思いやりを持って働き、やりがいを感じたい方は、ぜひ岩手と敬会に。お待ちしております！

インタビュー：八角 祐奈

社会福祉法人岩手と敬会
〒020-0801 盛岡市浅岸3丁目23-50
URL <http://www.wakeisou.or.jp/>

地域に寄り添い、患者様の健康と笑顔を支える
株式会社ライブリー 佐藤正義さん



盛岡市で生まれ、地元の高校を卒業後、県外の大学へ進学しました。大学卒業後は県外の調剤薬局で勤務後、出身地である盛岡に戻ってきて調剤薬局に勤務しました。その後、薬剤師としての今後の成長、盛岡で働き続けることを考えて、地域に根付いた会社であるライブリーに入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

薬剤師として調剤薬局で働いています。処方箋を受け付けて処方内容を確認し、お薬を用意したら、問題点や間違いがないかを再度確認します。その後、患者様の体調を確認しながら、お薬の説明をしてお渡しします。その他の業務としては、患者宅を訪問する在宅業務や、薬の発注・在庫管理なども行っています。また、認定実務実習指導薬剤師として薬学生の実務実習の受け入れや、学校薬剤師業務、地域住民へのお薬説明会、社内研修なども行っています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

ライブリーは、「街のかかりつけマイ薬局」を目指し、地域への貢献を心掛けている会社です。店舗数は北東北No. 1で、所属している社員数も多いため、色々な意見交換ができ、刺激を得ることができる会社だと感じています。また、休日をしっかりと取りながら仕事に取り組むことができるので、子育てをしながらでも働きやすい環境です。普段からスタッフ同士で声を掛け合い、協力しながら働いている、明るい雰囲気職場です。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

東日本大震災の時です。停電の状態が続き、薬を包む機械や電子天秤等が使えない中、当時の上司が指揮をとり、粉薬の代替薬の提案や薬を包む作業を手作業で行いました。停電解消後も工場の被災や物流障害により薬が思うように調達できない状態が続きました。限りある薬剤をなるべく多くの人にお渡しするため、近隣の医療機関や医薬品卸会社と連絡を取り、患者様にも状況を伝えながら業務に取り組みました。そのような日々を過ごす中で、薬の供給に対する責任の大きさと情報を共有することの大切さを改めて感じました。この経験は、現在の業務にも活かされていると感じますし、若手の社員にも伝えていくべき事だと考えています。

Q. これからの目標を教えてください。

自分が今まで教えてもらった事、経験して身につけたことを伝えていき、若い世代を育てていくことを目標としています。ライブリーの薬局は薬剤師だけではなく、医療事務や本社、本部スタッフで協力しながら作り上げ運営しているものです。薬剤師としての専門的知識のみではなく、「チームの一員としてどうあるべきか」ということも伝えていきたいと思います。そのためにも研鑽を重ね、自分自身が薬剤師として、社会人として、成長を続けていくことが重要だと考えています。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

市内の中心部にはきれいな川が流れており、自然も豊かで、四季を感じられるところが盛岡のいいところだと思います。都会ではないのですが、自然を身近に感じながらゆっくり過ごすことが好きな方にとっては、とても魅力的な街だと思います。また、人が優しいところも魅力の一つだと思います。

インタビュー：株式会社ライブリー 八重樫 真結

株式会社ライブリー
〒024-0021 北上市上野町2-32-21【本社】
〒020-0062 盛岡市長田町2-21【盛岡オフィス】
URL <https://www.lively-pharma.jp/>

利用者様の笑顔のために！

合同会社スプリングブリーズ 四戸 瑠莉さん



岩手県出身の四戸さん。「スキルを身につけるためには、実践的に覚えていく方が自分に合っている」と考え、高校の普通科を卒業後、かねてから興味のあった介護業界に飛び込みました。社会人4年目に突入し、ケアワーカーとして日々楽しみながら仕事に勤めています。

Q. どのような仕事をしていますか？

住宅型有料老人ホーム“セカンドライフはるかぜ”にて、身体介助、排泄介助や食事介助等、利用者様が快適に過ごせるように支援するケアワーカーの仕事をしています。そのほかにも、デイサービスの計画や各種イベントなど、利用者様が楽しめるような企画を考えることもあります。“最高の親孝行を介護で”という会社の理念のもと、利用者様おひとりおひとりの言葉や行動の意図を考えながら、日々業務に取り組んでいます。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

いざ介護職に就こうとしたとき、自分に合う会社が全く分かりませんでした。様々な施設を見て回って、最後にたどり着いたのが合同会社スプリングブリーズ。施設の見学に訪れた際、利用者様と職員が笑顔でお話しされている姿をみて、とても素敵な関係性だなと思いました。条件的にも自分の希望とマッチしていたので、セカンドライフはるかぜに入社を決意しました。

Q. これからの目標を教えてください。

報告・連絡・相談、いわゆる“ほうれんそう”をより大切にしていきたいと考えています。現場で頼れることが増え、自身も多忙となるなかで、飛び交う情報を適度にまとめる機会が必要であると感じていました。社内のメッセージングアプリ等を有効活用して、自身の情報整理だけではなく、社内全体へもっと確実に情報提供をすることができたらと思います。

Q. 就活する学生へのアドバイスををお願いします。

学生の皆さんには、さまざまな年代の人と対話する機会をもってほしいです。学生時代に積極的に関わる人は、多くが同じ年代であると思います。一方で、仕事上では様々な年代、職業、あるいはまったく異なる価値観をもつ人と関わる場面がでてきます。自分自身が人見知りだったというもあり、利用者様との関わり方を模索していたので、学生の皆さんにはぜひいろんな人とお話しして、たくさんの価値観にふれてもらえたらと思います。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

空気がおいしいところです。登山が趣味なのですが、山頂は空気が澄んでいて、本当に気持ちよかったです。三大麺や福田パンなど盛岡で有名なグルメは、空気がおいしい盛岡で食べるとより一層おいしく感じると思います！

地元で地域貢献！

有限会社スタイル薬局 吉田 皓さん



盛岡の高校を卒業後、薬学部へ進学した吉田皓さん。大学卒業後、地域貢献を志し、在宅医療に取り組む薬局を探していた時に知り合いから現在の薬局を紹介され、入社しました。入社後は薬の管理に困っている人へのサポート、施設への訪問など行い、薬局で頼りにされる存在です。

Q. どのような仕事をしていますか？

近隣の耳鼻科や皮膚科を受診する方には小さいお子さんも多いので、親御さんたちにも少しでも安心して薬物療法を受けてもらえるように小児薬物療法認定薬剤師の認定を目指しています。また在宅で担当している個人宅と施設のすべての患者さんがより良い薬物療法を受けられるためのフォローをすることです。最近になって施設訪問の回数が増えているので、少しずつ薬物療法の質を向上させられていると思います。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

病院とも迷いましたが、ずっと生まれ育った盛岡の地で地域医療に貢献したいと思い、在宅医療に力を入れている薬局を探していました。昔からの知り合いの薬剤師の方の紹介もあり、スタイル薬局で働かせてもらうことになりました。病院や薬局に通うのが難しい方や、薬をきちんと服用することが難しい方のサポートをしたいと思い、在宅医療に興味を持ちました。普段薬局で患者さんと話をするのとは違って、患者さんの家に訪問した時は、話す時間も長く取ることができ、より患者さんの変化や改善を実感できます。薬の管理の手助けが必要な人はたくさんいます。困っている方々をサポートしたいと考えています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

覚えることが多くて最初は慣れるのが大変でした。日々業務をこなすにあたって自分のスキルも上がってきたように感じます。社長がいろいろな仕事を振ってくれるのでそれもスキルアップにつながっています。最近になって在宅の施設や個人宅の方を多く受け持つことになり、やりたかった在宅の業務に力を注ぐことができて充実しています。職場内のコミュニティも良好でとても働きやすく勉強する機会ももらえてステップアップしやすいと思います。

Q. これからの目標を教えてください。

1人目の個人宅の担当を受け持たせてもらった時が印象に残っています。自分が担当になるということでその人の薬の管理をしなければならないという責任感と不安をすごく感じたのを覚えています。在宅だと家に直接行くので患者さんと一対一で対峙するので相談できる人がいなくて不安でした。その方は今も担当していますが、認知機能や体の状態に合わせて薬の管理方法を変えてきました。そのおかげかわかりませんが、薬の飲み忘れもほとんどなく、元気に過ごされています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

まずは色々な人の話を聞くことだと思います。実際に話をすることで本当に自分がやりたいことが見えてくるのではないかと。後は人から聞いた話を鵜呑みにせず自分でも考えること。ほかの人が良いと言っても自分がそうとは限らないのでよく見極めましょう。働くうえで一番大切なのは人間関係です。この人となら仕事を続けたいと思えることが大切です。また社会人として積極性を持って仕事をする。将来設計ができていくことレスポンスがよいことなどが必要だと思います。

インタビュー：有限会社スタイル薬局 梅村 芙美子



やりがい、若い会社を自分の頑張りで成長させること。
株式会社やよいディライト やよいリビング 佐藤 拓実さん



学生の頃モテモテだった佐藤さん。もともと寝ることが好きだったので盛岡の高校を卒業後は寝具業界で働いていました。その後友人が寝具店を起業するとの事でヘッドハンティングされ、やよいリビングに入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？
ブレイングマネージャー。本社テナントと前沢店のマネージャーとして、チーム力、売り上げUP、人材育成に力を入れています。さらに外商営業部としてお客様のご自宅をまわり、最適な寝具の提案をしています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。
まだまだ若い会社なので自分の頑張りで次第にいかようにも会社を作っていくところ的魅力とやりがいを感じています。社員同士も仲が良くアットホームな雰囲気が毎日楽しく働ける理由です。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。
営業を始めた頃の頃、計算間違いをしてお客様に半額の値段を提示してしまいました。会社にはすごく怒られましたがお客様はすごく喜んでくれました。（笑）

Q. これからの目標を教えてください。
会社を作る段階として若手社員の育成に力を入れていきたいと思っています。また、睡眠学をどんどん学び弊社のお客様から認知症の方や不眠症の方をなくしていきたいと考えています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。
とにかく礼儀礼節は大切。ありがとうとごめんなさいは当たり前と言える人であってほしいです。それと小さくても人生の目標を持つこと。目標を達成するための一つの手段が仕事という感覚のほうが長く続けられます。いい車に乗りたいから、旅行にたくさん行きたいから仕事をする、仕事をしてお金があるから、車を買う、旅行に行くという考えにならないようにしたほうがいいですね。

インタビュー：イオン前沢店 重泉 愛

株式会社やよいディライト やよいリビング
〒020-0862 盛岡市東仙北2-14-28
URL <https://yayoi-living.jp/>

会社に欠かせない経理という仕事で、地元岩手に貢献
株式会社木津屋本店 吉田有梨沙さん



吉田さんは、盛岡の高校を卒業後、歴史ある現在の会社に入社しました。入社時は別の部署に所属していましたが、1年ほど前に経理などを担当する部署へ異動になったため、いろいろな仕事を経験しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

現在は、買掛業務を先輩から引き継ぎながら担当しています。仕入のデータが合っているか、請求が合っているかなど、多くの確認作業を行い正確に取引先にお支払いをする業務を行っています。常に作業があるので大変な仕事ではありますが、いろいろな経験ができてやりがいのある仕事だと感じています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

木津屋本店という会社を、私は就職活動をするまで知りませんでした。しかし、両親や祖父母は知っていて、「古くからある会社」だと教えてくれました。調べたところ、300年以上の歴史があると知り、盛岡にそんなにも歴史の長い会社があるのかと興味を持ちました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

進んで声をかけ合って助け合う雰囲気の良い職場です。忙しくて手が回らないときには気にかけていただき、カバーして下さるとも頼りになる先輩方ばかりです。また、お客様との距離が近く、このようなコロナ禍でも良くしてくださり、繋がりを感じました。

Q. これからの目標を教えてください。

入社して4年目になり、いろいろな仕事を任せられるようになってきたので、より与えられた仕事に責任を持って勤めていきたいです。まだまだ分からないことも多いですが、日々経験を積んで、頼る側から頼られる側になれるように頑張りたいです。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡はほかの都会と比べると遊ぶところは少ないですが、その分自然が多く、それを利用した観光スポットが多くあります。移動に時間はかかりますが、電車ですぐ行けるところはまた違った良さがあり、四季によって様々な景色を見ることができます。都心に比べると静かではありますが、帰ってくると過ごしやすいと改めて感じます。

インタビュー：株式会社木津屋本店 宇土澤 光里

株式会社木津屋本店
〒020-8561 盛岡市南大通2-3-20
URL <http://www.kizya.co.jp/>

支え合える環境、そして患者さんのために
株式会社ライブリー 山川 亜由美さん



盛岡の高校を卒業。高校生の時の体験から、どうして薬を飲むと効果が出るのか、副作用はなぜ起こるのかを不思議に思ったことがきっかけで薬に興味を持ち、大学の薬学部に進学した山川さん。その後、親元を離れて働いてみたかったため、県外の会社に入社。結婚を期に岩手に戻り、現在の会社に入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

薬局で薬剤師として勤務しています。仕事の内容としては、医師が処方した処方箋の内容が適切かどうか確認後に調剤をしたり、患者さんに薬をお渡しする前に副作用歴や飲み合わせ等に問題がないかの確認、薬の説明や相談への回答を行ったりしています。その他には、薬局内の薬の在庫の管理、患者さんのご自宅に訪問して薬の説明や体調の確認、薬の管理等を行う在宅業務なども行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校生の時に口唇ヘルペスにかかり病院を受診し、処方してもらった薬で眩暈の副作用が出てしまいました。その体験から、なぜ副作用が起こるのか、薬はどうやって効いているのかを知りたくなり、薬に興味を持ちました。また、小さい時に優しく薬を渡してくれた薬剤師さんが忘れられず、そのような人になりたいと思い薬剤師を目指しました。そして、育児休暇後の職場復帰率が高いことも現在の会社に入社するきっかけとなりました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社する前に、育児休暇後の職場復帰率が高いことから、「働きやすい環境なんだろうな」と思っていたのですが、実際に入社し働いてみてそのことを実感しました。例えば、子供が急に熱を出して保育園から呼び出しがあっても、嫌な顔をせずに「早く行ってあげて」と言ってくれる上司や職場のスタッフがいてくれることです。また、経験豊富な先輩がいっぱいいるため、分からないことがあっても相談できるいい環境だと思います。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

印象に残っていることは、初めて在宅患者さんを任された時です。患者さんのご自宅に訪問する際は基本的に1人で訪問し、薬の効果か、体調の変化や気になっていることがあるかの確認、残薬の管理等を行うため、責任の重さを実感しました。しかし、任された仕事を頑張りたい気持ちと、その患者さんをしっかり支えたいという気持ちがあり、現在もその仕事に責任感を持って取り組んでいます。

Q. これからの目標を教えてください。

日々の業務や自己研鑽により知識を積み重ね、患者さんが疑問に思っていることに素早く、そして正確に答えられるようになることが目標です。素早く正確に答えられるということは、患者さんとの信頼関係を構築することに繋がると考えます。また、信頼関係を築けると、患者さんも薬剤師に薬の相談や生活習慣の改善について分からないこと等を話やすくなり、その方の抱えている問題や悩みを解決することに繋がると思うからです。

インタビュー：株式会社ライブリー 藤原 麗菜

株式会社ライブリー
〒024-0021 北上市上野町2-32-21【本社】
〒020-0062 盛岡市長田町2-21【盛岡オフィス】
URL <https://www.lively-pharma.jp/>

地元で働き方改革！～自分の強みを仕事へ～
リコージャパン株式会社 阿部 魁星さん



出身は盛岡で高校は情報ビジネス科を卒業し、県内就職に力を入れている工業系の短期大学校に進学。大学校卒業後は、関東圏か地元の岩手で就職するか悩みました。地元での就職活動を行い、紆余曲折ありましたが、今の会社に入社しました。現在は若手社員の先頭に立てる様に日々自己研鑽しています。

Q. どのような仕事をしていますか？

主にコピー機、プリンターの保守・メンテナンスを行っています。ほかには、IT系（パソコン、NAS、インターネット）等の対応をすることもあります。最近アドバイザーとして新人教育を任されています。今、一番力を入れている仕事は、提案活動です。お客様と仲良くなることでお客様のお困りごとを聞き出し解決できます。このような関係を築くことで実績に繋がると考えますし、お客様に喜んでもらえるのでモチベーションが上がりますね。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

短期大学校1年生の頃から就職活動をし、多くのインターシップや会社説明会に参加しました。会社を決めるにあたって、休み（有給休暇、取得率）、仕事内容、自己スキルで考えました。会社説明会に10社ほど参加した中で目を引くものがあつたのが、リコージャパンでした。会社説明会では採用担当の方が親身になって相談を聞いてくれました。体調の関係でできる仕事制限されつつも、自分ならこの仕事で高校、短期大学校で学んだことを活かせると思い入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

職場の雰囲気は、入社前と良い意味で変わりませんでした（笑）。盛岡事業所が「ViCreA」（当社で時間や場所にとられない働き方を実践しているLiveOffice）するという働き方改革を通じて、働く社員のためにオフィス家具と環境に気を遣っていて、綺麗なオフィスで気持ち良く仕事も捗ります！良いと思うポイントは、エンジニアの新人研修や機器研修といった社内研修ですね。講師の方が細かい所まで実機を使って教えてくださいるので、とても分かりやすいです。そして、仕事に使用したりする資格取得支援はすごく手厚いですね。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

失敗したことで印象に残っているのは、コピーの修理で直しきれなかったことです。その時、いろいろ試しましたがダメで、後日先輩方の力をお借りして直すことができました。最も心に残っていることは、担当しているエリアが変わっても「阿部さんに対応してほしい」と言われたことです。そのお客様とは相談や世間話をしていくうちに信頼関係が生まれて、いろいろと頼まれるようになりました。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

猫を被らないことです。無理して合わせても後がきつくなるからお薦めはしません。長く勤めるならより気をつけた方がよいと思います。私も就職活動中に思っていました、「何が一番重きを置くかが重要」だと思います。決めるうえで妥協しなければならない部分も出てきますが、曲げない部分も必要だと思います。自分自身が納得すれば長く続くと思います。

インタビュー：リコージャパン株式会社 須賀 雄大

リコージャパン株式会社
〒020-0866 盛岡市本宮3-36-45
URL <https://www.ricoh.co.jp/>

人との交流を大切にお客様のお悩み解決！
株式会社木津屋本店 川代 貴司さん



盛岡の高校を卒業後、県内の大学に進学した川代さん。高校、大学と経営について勉強し、大学では幼いころから行っていた水泳同好会を立ち上げ、精力的に活動を行ってきました。その後県内の企業に就職し多くの経験を得たのち現在の会社に入社し、県内の取引先企業様のニーズに合わせた商品の提案を行っています。

Q. どのような仕事をしていますか？

岩手県内の印刷会社様を中心に営業活動を行っています。主にはコピー用紙やチラシやパンフレットにも使用されている印刷用紙など様々な商品からお客様のニーズに合わせた商品のご提案を行っています。紙だけでなく、ペンやノートといった一般文具の取り扱いもしています。その他にも、配達後のアフターフォローや、お客様のお悩みを解決するために、商品知識を会得するために日々、勉強しています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

古くからある企業ということで、職場内は堅苦しい雰囲気と思っていましたが、そういったことはなく穏やかな雰囲気、情報交換などをしながら働きやすい環境と思いました。入社するまでは紙のことは何も知らない知識ゼロの状態からスタートしましたが、その紙の種類の豊富さに圧倒されました。しかしその分お客様に幅広い提案が出来ると感じており、日々勉強をしていかなければならないと思っています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

お客様がどのような印刷用紙を使うか悩んでいたところに、私が提案をした用紙を採用していただき、実際に完成品となった印刷物を見たお客様から「素晴らしい仕上がりだ。この用紙を提案してくれてありがとう」と感謝されたことが特に印象に残っています。私自身も日々商品の勉強をしていてよかったと報われた気持ちになりました。これからもお客様の悩みを解決できるように日々精進していこうと思います。

Q. これからの目標を教えてください。

第1にお客様に信頼していただけるような営業になることです。その為に商品知識などをもっと深めていき、お客様の悩みに最適な提案が出来るようにしていかなければならないと考えています。第2には心身ともに健康にすることです。仕事をしていく上では心身ともに摩耗している状態ではお客様に対しても全力でぶつかることが出来ませんので、これから先も心身ともに健康でいられるようにオン・オフのメリハリをつけていくことも目標です。

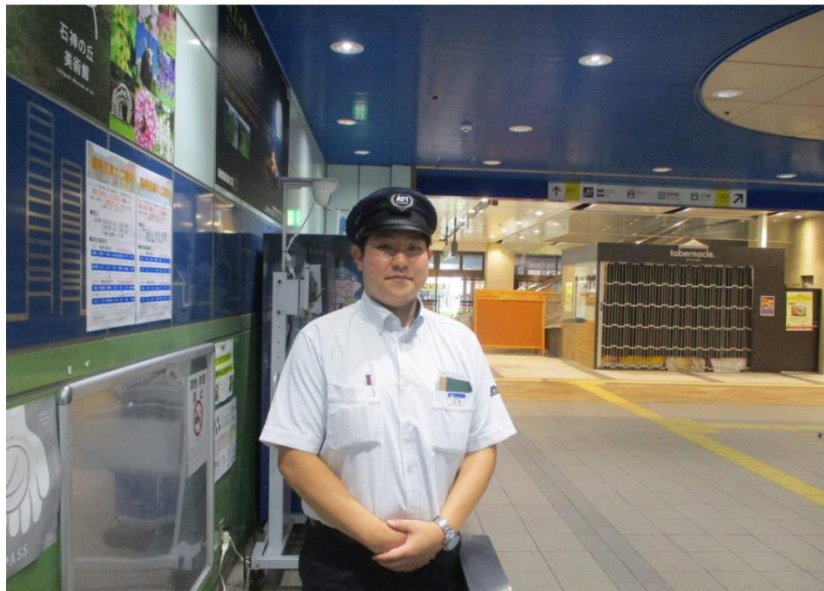
Q. 就活する学生へのアドバイスををお願いします。

人との交流を大事にしてほしいです。世の中にはたくさんの方がいて若い人であったり、お年寄りの方であったり様々な経験をしてきた人も多くいます。そのような人と交流をすることで、その人が今まで経験してきたことや大切にしている価値観が分かると思います。様々なことを聞き、経験していくうちに自身の見聞が広まり、チャレンジの幅が広がっていくと思いますので多くの人と交流して、自分はこういうことは出来ない、こういうことが出来る！といった可能性を見つけてほしいです。

インタビューー：株式会社木津屋本店 竹内 洸平

株式会社木津屋本店
〒020-8561 盛岡市南大通2-3-20
URL <http://www.kizya.co.jp/>

鉄路を守り続け、地域に寄り添う鉄道会社へ
I G Rいわて銀河鉄道株式会社 古館 駿さん



中学生の時、鉄道業務に就きたいと考えていた古館さん。地元盛岡の高校を卒業後、縁があり現在の会社に入社し、7年目です。また、I G Rには高校の時にインターンシップで訪問しており、会社の雰囲気の良さ、若手が活躍できている場であることを見せていただいたことも、就職するきっかけとなりました。

Q. どのような仕事をしていますか？

入社後は、線路やお客さまが使用されるホームなどの保守管理を行う設備部門の土木グループで5年間従事しました。その後、盛岡駅グループへ異動となり、現在2年目。駅員として、盛岡駅及び厨川駅で勤務しています。乗車券や定期券の発売を行う窓口業務や切符の確認、回収を行う改札業務のほか、駅の設備担当として軽微な駅の修繕やその他支障箇所の集約を行い、前の部署である設備部門とのパイプ役を担っています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

弊社は、岩手県の第三セクターとして2002年に開業し、自身は2016年に入社。正社員、委託社員、スタッフ社員を合わせて300人程の会社なので、社員一人ひとりの顔を覚えやすいです。また、社員間同士でのレクリエーションや行事なども行われ、他部署との交流も盛んです。鉄道会社ならではのイベントもあるため、沿線地域の方々だけでなく社員自身も楽しめると感じております。実際に仕事をして感じるのは、社員の平均年齢も若いおかげか、先輩へ声もかけやすく職場内の雰囲気もとても良いと感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

まず、設備部門での思い出ですが、I G R沿線は山岳地域を多く通っていることから動物がよく出現します。そんな中でも、自分の後方10 mのところに熊が来ていたと先輩から言われたときは、生きた心地がしませんでした。現在は、駅員として盛岡駅と厨川駅で勤務しておりますが、特に厨川駅は学生が多く利用します。そのため、列車の遅延や運休などが発生すると、多くのお客さま、通学される学生にご迷惑をお掛けしますが、つい先日大雨で列車が止まってしまった際に、中学生から「いつも時間通りに運行してくれてありがとうございます。大変だと思うけど頑張ってください。」の言葉と折り鶴をいただき、心がすごく落ち着き、改めて気が引き締まりました。

Q. これからの目標を教えてください。

全社員対象に年に一度開催される社内募集企画へ提案しました。9月中にプレゼンを行う場があり、集客に伴う販促促進について発表したいと考えております。まず第一歩として企画の採用が目標であり、今後様々な世代から愛される鉄道会社であり続ける。そんな会社の一員として共に成長し続ける。これが私の最終目標です。また、現在勤務している盛岡駅はI G Rの顔であるため、毎日笑顔で気持ちの良い接客をこれからも心掛けてまいります。皆様に「愛される駅員」から「愛される会社」へ、私から行動し、しっかりと若い社員にも継承していけるよう精進いたします。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

岩手県には盛岡をはじめとする各市町村に専門職や営業職など幅広い分野の仕事があります。自分がやりたいこと、叶えたい事がきつと見つかる、そんな場所だと思っています。さらに、岩手県の人柄として良い意味でおせっかいな人が多い印象です。分かるまでとことん付き合ってくれます。自分のしたい仕事、職種に悩んでいる今こそ岩手県の求人を見れば興味が湧いてくると信じております。また、是非I G Rにも興味を持っていたき、一緒に「人を 地域を 未来へつなぐ」そんな会社を作ってみませんか？

インタビューア：I G Rいわて銀河鉄道株式会社 原子 翔

Uターンして叶えた夢とこれから叶える夢
I G Rいわて銀河鉄道株式会社 千葉 峻也さん



県内の高校を卒業し、県内で就職後、高校時代から「鉄道について学び、地元岩手に鉄道を通して貢献したい。」という夢を抱いていたため、鉄道を専門的に学べる東京の短期大学へ進学した千葉さん。大学卒業後、東京の鉄道会社へ就職。東京で培った知識や経験を岩手で還元するためにUターンし、I G Rいわて銀河鉄道へ入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

駅員として、窓口で切符や定期券の販売、改札業務、自動券売機売上の集計、お客さま対応、駅構内の清掃・環境整備等、当社をご利用していただくお客さまへのサービス向上に向けた取組を日々行っております。また、駅員一人に対し、3駅程度の業務を受け持ちますが、私は主任として盛岡駅、厩川駅を中心に盛岡駅管轄の10駅の業務に従事し、若手社員やスタッフ社員の方々とコミュニケーションを図りながら業務の指導を行っております。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校時代に、鉄道会社で仕事をしていた親戚が持っていた鉄道に関する本に触れ、鉄道へ興味を持ったことがきっかけでした。高校卒業後、県内で一度就職しましたが、やはり高校時代から興味があった鉄道について学び、鉄道を通して地元岩手へ貢献したいという思いで、鉄道を専門的に学べる東京の短期大学へ進学しました。大学卒業後、東京の鉄道会社に就職し、3年を経て、その経験を活かし岩手に貢献するためI G Rいわて銀河鉄道に入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

当社は、一般的な鉄道会社よりも比較的年齢の若い社員が多いです。どの社員も共通して、災害時・異常時などお客さま一人ひとりに合った接客を丁寧に行い、駅員一人で解決できない際には他人事と思わず、駅員全員で解決していく共通認識があります。会社全体がチームワークを図り、解決に向けて切磋琢磨し、駅員同士が積極的にコミュニケーションを取り、連携して業務に取り組む姿勢が当社の魅力だと感じております。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

駅員になって間もない頃、お客さまから苦情があった際にお客さまの話を受け止めきれず、一方的に自分の意見を通そうとしてトラブルになったことがありました。その際に先輩から「お客さまあってのお仕事であり、お客さまからのご意見は会社の成長につながる。」とアドバイスをいただきました。現在、お客さまからご意見をいただいた際には、お客さまの話をしっかりと受け止めることが会社や自分自身の成長につながっていると実感し、全力で問題解決に向けて努めております。

Q. これからの目標を教えてください。

エキスパートな駅員になることが目標です。私は駅員歴14年目を迎え、駅窓口での営業知識は熟知しておりますが、エキスパートになるためには列車の運行や、線路・信号に関する規則など駅構外の知識を習得することが重要です。駅構内・外どちらの知識も完璧にし、自身の更なる強みにすると同時に、後輩社員へ駅構外についての知識量を増やすため詳細に指導することで会社全体の質を上げることが私の目標であり、夢でもあります。

インタビュアー：I G Rいわて銀河鉄道株式会社 阿部 沙綾

一歩踏み出す勇氣

[株式会社岩手ファーム 丹内 美江子さん]



県内の高校を卒業後、アパレルの会社で働いていましたが、会社の規模縮小にともない、勤めていた工場が閉鎖になりました。次の仕事を探しているとき、新しい仕事にチャレンジしようと思い、現在の会社に入社しました。

Q. どのような仕事をしていますか？

にわとりは1日1個のたまごを産みます。産まれたたまごは毎日その日のうちにすべて集卵し、たまごの選別工場にコンベアで運ばれます。はじめに、こわれているたまごや汚れが大きいたまごをとり除きます。その後、1個1個を機械と人間の目でダブルチェックし、サイズごとに選別されたものを商品用途によって包装していきます。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

はじめは作業スピードについていけるか不安がありましたが、当時の先輩方に指導していただき、何とかついていくことができるようになりました。たまごの仕事は、それぞれの担当とスムーズに連携して進めていくことが大切なので、お互い気持ちよく仕事ができるように言葉遣いや対応には注意して行動しています。たまごの仕事に携わるようになり、スーパーに陳列されているたまごが気になるようになりましたね。当社のたまごを手にとってくれるお客様に喜んでいただけるよう間違いのない仕事を心がけています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

東日本大震災が起きた時に、部署問わず社員全員で協力し合い、鶏を失わず、生産を続けることができたことです。震災時は電気が止まり、数少ない自家発電機を調達し、数か所ある製造工場に自家発電機を付け替えながら、24時間体制で製造を行いました。同業者の方々、飼料会社、運送会社、燃料会社他、たくさんの方々に助けをいただき、乗り切ることができました。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

先輩から学んだことをメモ帳に記入して覚えたり、自分から積極的に質問をして、仕事を覚えていったりしてください。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡のいいところは、自然が豊かで、人が優しいことです。有名なところでは小岩井農場等があり、動物と自然に触れ合えるところがたくさんあります。また、盛岡市内の夜景がきれいに見えるところもいろいろあります。

インタビュー：株式会社岩手ファーム 鈴木 沙耶加

株式会社岩手ファーム
〒028-4134 盛岡市下田字生出731-7
URL <http://www.iwate-farm.co.jp/>